

全体概要

with Kyutech

九州工業大学で学んだ仲間（アソシエ）が、  
修了後もずっと学べる場所。



講師から学ぶ



卒業生同士学び合う



企業から学ぶ

九州工業大学の講師から学び続ける、九工大アソシエと学び合う。  
産学連携で共創する、生涯リスキングのプラットフォーム

具体的なサービス内容について

- ① **Webコンテンツで学ぶ**：九工大卒業生が最新エンジニアリングを学べるwebページ（毎月）
  - ・卒業生の学びにつながる情報を、継続的に web プラットフォームで提供
  - ・講師陣の提供した教育コンテンツ及び専門分野の最先端などのウェブによる紹介
  - ・副業募集の情報提供
- ② **Webセミナーで学ぶ**：講師陣がさまざまなテーマで、セミナーを実施（四半期一回）
  - ・講師陣が、最新のエンジニアリングに関する様々なセミナーを実施
  - ・2ヶ月に一回のオンライン交流会
- ③ **イベントで学び合う**：年2、3回の学び合いカンファレンス（東京・福岡等の対面イベント）
  - ・九州工業大学で学ぶ/学んだ者、講師、協賛企業、連携教育機関等の学び合い交會
  - ・オプション1：企業専用掲示板（企業が直接繋がる掲示板）
  - ・オプション2：九工大教員の講師派遣（プライベートセミナー）

サービス項目	ブロンズ パートナー	プラチナ パートナー	ダイヤモンド パートナー
パートナーシップ費用（年額）	440,000 円	880,000 円	2,200,000 円以上
九工大卒業生が最新エンジニアリングを学べる web ページに対する閲覧及び情報提供	○	○	○
オンラインセミナー及びオンライン交流会 参加	○	○	○
オンサイトイベント	参加費 5 万円	○	○
優先登壇権（※）	-	○	○
研修受講チケット	16 万円分（中級 4 科目）	16 万円分（中級 4 科目）	40 万円分（中級 10 科目）
企業ロゴと HP リンク掲載	企業名のみ掲載	○	○
九州工業大学長参加 TOP 交流会	-	会食費は別途	○

スポンサー費用 1 口：440,000 円（税込）

※セミナー、交流会、イベントに関する優先登壇権



変革できる学びの共創プラットフォーム  
**Kyutech ARISE**  
<https://www.kyutech-arise.co.jp>

九州工業大学講師陣による社会人の新しい“学び”を創造します



Kyutech ARISE

お問い合わせ TEL 070-3256-9229

HP:<https://www.kyutech-arise.co.jp>

mail:[info@kyutech-arise.co.jp](mailto:info@kyutech-arise.co.jp)



## 成長を実現する共創プラットフォームで、学び・学びあい、新時代のテクノロジーで未来社会を創造していきましょう。

Kyutech ARISEは、国立大学法人九州工業大学の豊かな教育資源や産業ネットワークを活用し、次世代のリーダーを育成するために九州工業大学100%出資の株式会社として設立されました。情報工学部の強みであるAIやデータサイエンスを中心に、実践的な教育と最先端の研究を通じて、人財育成に取り組んでいます。今後は、ロボティクス、宇宙システム等工学部系の特長ある研修カリキュラムを整備していく予定です。

Kyutech ARISEは、北部九州地域を中心に、日本全国およびアジア地域での人財育成を目指し、地域の持続的な発展に貢献することを使命としています。産学連携を強化し、革新的な技術とイノベーションを生み出し、社会に貢献していきます。

私たちは、社会人や企業の皆様とお互いの成長を実感して、未来を切り拓くためのパートナーシップを大切にしていきます。これからも、私たちの活動にご期待いただき、共に明るい未来を築いていきましょう！



株式会社 Kyutech ARISE  
代表取締役社長 嶺 正二郎

### 会社概要

商号 株式会社Kyutech ARISE  
設立 2024年4月1日  
所在地 福岡県飯塚市川津680-4 九州工業大学 飯塚キャンパス内  
株主 国立大学法人九州工業大学 100%出資

### 沿革



戸畑キャンパス



若松キャンパス



飯塚キャンパス

九州工業大学は、1907年開校の日本屈指の歴史を誇る大学です。現在、工学部・情報工学部の2学部と、大学院の3研究科からなり、福岡県北九州市の戸畑区と若松区、飯塚市にキャンパスを設置しています。

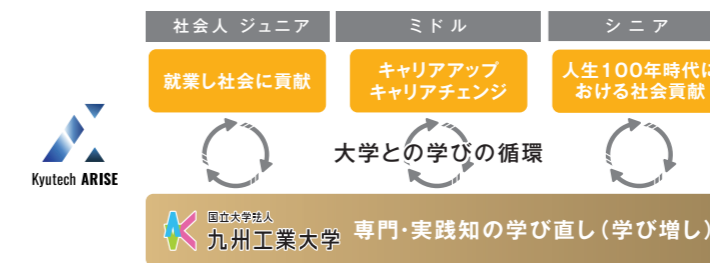
#### 九工大のあゆみ

- 1907 私立 明治専門学校 設立認可
- 1909 私立 明治専門学校 開校
- 1921 官立 明治専門学校へ移管
- 1949 九州工業大学 設置
- 1986 情報工学部 設置
- 2000 大学院生命体研究科(博士課程)設置
- 2004 国立大学法人 九州工業大学 設置
- 2009 創立100周年
- 2024 株式会社Kyutech ARISE 設立

## Kyutech ARISEとは

国立大学法人九州工業大学のもつ教育リソースを活用した卒業生やエンジニア等の社会人向けリカレント・リスキリング教育および研修、就業支援事業等の生涯学習支援を行う人財育成プラットフォーム会社です。

### 「生涯学習支援」として、人生の歩みに合わせた テイラーメイドでの学びと実践の循環を創出



## Kyutech ARISEのMVV

- Mission** 生涯活躍できるエンジニアや社会人修士・博士等の高度技術者を輩出することを使命とします
- Vision** 大学と企業が協働し、社会を変革できる学びのプラットフォームの構築を目指します
- Value** プラットフォームに蓄積された専門知(大学)と実践知(企業)を、ニーズに合わせて創造し価値を高めます

### 九州工業大学が手がけたコンテンツをベースに社会人の “学び”を実現するプラットフォームを構築

オンラインコミュニティサイト「Kyutechコミュニティサービス」<sup>(※)</sup>を活用した交流イベントやセミナーなどを開催。

(※)九州工業大学のオンラインコミュニティサイト「Kyutechコミュニティサービス」が2024年6月に開設されます。同サイトは、卒業生、在学生、各種講座を受講された方などをはじめ企業様との繋がりを維持、発展させることを目的としたコミュニティサービスです。

九工大監修の教育コンテンツでエンジニアのキャリアアップを図り、九工大及び提携企業のコンテンツをカスタマイズして、企業等のニーズに合わせた人財育成研修として実施可。





## 人材タイプ別リスティング科目一覧

Kyutech ARISEでは、様々な企業・産業現場において、立場や目的に応じて、「学び増す」ことができる、多様な科目群を、基礎から応用迄、体系的に用意しています。ここでは、ITSS+を参考に、大きく4つのコースに分けて、育成される人材タイプ別に、まとめています。さらに、4つのコースに加えて、身につく能力で細分しております。経営者向け、現場向けの研修科目なども用意しています。詳細はご相談ください。

### AI・データサイエンスコース

データを用いた事業効率化・事業開発の基礎能力をつける

### 高度ソフトウェアエンジニアコース

プログラム開発における作業効率改善と品質向上手法を学ぶ

### DX経営人材コース

マネジメントに必要となるビジネススキルとマインドセットおよびIT素養を培う

### 専門人材特化型コース

測量や制御など専門分野を極める

#### 人材タイプ

コース	AI・データサイエンスコース			高度ソフトウェアエンジニアコース						DX経営人材コース			専門人材特化型コース
	データサイエンティスト			ソフトウェアエンジニア						DXリーダー			工学エンジニア
職種	データサイエンス データを分析してビジネスの意志決定への改善提案を行う人材	データエンジニアリング 活用・分析するためのデータを作り出す人材	特定のビジネス 特定のビジネス分野に、AI/DSの技術を活かす人材	IoT すべての「もの」をインターネットに繋ぐことを目指した分野で活躍する人材	バックエンド ネットワークを利用したサービスを提供するための開発者人材	クラウド クラウドサービスの使って、サービスを提供する人材	分析 情報技術を使って、先端的計測分析を行うことができる開発人材	教育 教育現場で、情報基盤支援及び教育支援を行う人材	開発プロセス ソフトウェア開発を改善し、チームを率いることができる人材	ビジネス ビジネス・プロセスを、情報技術を利活用してDXを推進することができる人材	経営 経営のDXを進めるために必要となる知識・スキルをもつ人材	UX/UI ユーザー目線からのDXに向けた経営戦略を考えるための人材	電気系 電気・電子回路系分野での専門性を向上する人材
Lv 4	プロジェクトレベル (デジタルリーダー人材)								T S P				
Lv 3	高度専門レベル (デジタルコア人材)	LLM/生成AIのための深層学習	三次元点群認識技術総合演習					デジタル画像処理入門	コンピューターグラフィックス	P S P			EMC設計論
		人工知能応用	バイオメディカルデータサイエンス										パワーエレクトロニクス
Lv 2	専門レベル (推進/支援人材)		画像認識技術総合演習	データ変換が直接表現できるElixir言語で学ぶIoT応用	実践演習・APIを活用したソフトウェア設計		情報教育の実践		ERP応用	DX入門Ⅲーデータから経営をみるためのスキル	UX/UI入門		
		自然言語処理と機械学習入門	深層強化学習総合演習	IoT時代の組込みプログラミング	基礎から学べるスマートコントラクト開発		支援士実習		ERP入門	DX入門Ⅱー問題解決とその方法			
		データサイエンス基礎	安全運転支援・自動運転技術入門		ウェブサイトの構築を通じて学ぶクラウド基礎		ソフトウェアプロセスに基づく自己マネジメント:入門編			DX入門Ⅰーユーザー目線からみるDX			
							情報ネットワーク(ネットワークの基礎)						
							計算機システム(コンピュータ・ハードウェアの基礎)						
Lv 1	リテラシーレベル (デジタル基礎人材:デジタル化の基礎を学ぶ)						情報倫理		高校情報Iで学ぶDXの基礎Ⅳー情報ネットワークとデータの活用				
							情報教育の理論		高校情報Iで学ぶDXの基礎Ⅲーコンピュータとプログラミング				
							情報社会と教育		高校情報Iで学ぶDXの基礎Ⅱーコミュニケーションと情報デザイン				
					情報処理・データサイエンス				高校情報Iで学ぶDXの基礎Ⅰー情報社会での問題解決				
			プログラミング入門										
			情報リテラシー										
DX (経営リーダー人材:経営判断のためのテクノロジーを学ぶ)									PSP/TSPの概要と導入効果				
										生成AI入門(ワークショップ形式)			

- (1) 色がついている科目は履修証明プログラムの講座として実施予定です。詳細はHPをご確認ください。  
■ …知的モビリティのための深層学習講座 ■ …応用ソフトウェア開発支援士講座 ■ …情報教育支援士講座 ■ …情報基盤整備支援士講座
- (2) グレーの科目は来年度以降開講予定科目です。

**人材開発支援助成金について**  
 Kyutech ARISEより提供する研修は、厚生労働省の人材開発支援助成金の支給対象となる場合があります。助成金の支給を受ける場合、受講生本人から講座受講前と受講後に労働局へ書類の提出が必要です。詳細は厚生労働省のホームページ又は各都道府県の労働局の人材開発支援助成金担当窓口へご確認ください。

# AI・データサイエンスコース

## コース概要

### コースの内容

#### AI・データサイエンスに関する内容を学習する講座

- ▶ データサイエンティスト(基礎)講座: データサイエンス基礎、Python入門、自然言語処理と機械学習入門
- ▶ 知的モビリティのための深層学習: 安全運転支援・自動運転技術入門、画像認識技術総合演習、三次元点群認識技術総合演習、深層強化学習総合演習
- ▶ その他科目: AIで用いられるデジタル処理とそのLSI設計、情報処理・データサイエンス、人工知能応用

### 主な対象者

- データサイエンス・機械学習を基礎から学びたい社会人

### 得られるスキル

- AI活用の為の基本知識及びスキル
- 業務へのAI応用の為の開発スキル
- データの活用スキル・新規事業開発の基礎能力

## 知的モビリティのための深層学習講座

### 安全運転支援・自動運転技術入門

安全運転支援・自動運転技術の発展を支える技術について学びます。特に、深層学習による交通環境の認知の高精度化の歴史に焦点を絞り、技術解説します。

### 画像認識技術総合演習

車載カメラを用いた画像認識技術の理解を深めることを目標として、MATLABを利用した深層学習について演習を行います。本演習科目を受講する上では、深層学習に関する基礎知識、およびMATLABの基本的な利用法を修得済みであることが望ましい。

### 三次元点群認識技術総合演習

車載LIDARを用いた三次元点群認識技術の理解を深めることを目標として、MATLABを利用した深層学習について演習を行います。本演習科目を受講する上では、深層学習に関する基礎知識、およびMATLABの基本的な利用法を修得済みであることが望ましい。

### 深層強化学習総合演習

知的なモビリティの実現には、ロボットの身体性等を考慮して自律的に適切な行動が獲得できることは重要です。本演習では二足歩行ロボットを題材に、深層学習による強化学習をMATLABを利用して実装し、深層強化学習についての理解を深めます。

## 単体科目

### 基礎から学べるPythonプログラミング

Pythonの文法について学び、正規表現やクラス概念を理解し、データ処理の基礎を学びます。特に、正規表現やディクショナリ、各種ライブラリを使う方法について理解し、機械学習ライブラリの動作までを学びます。

### 自然言語処理と機械学習入門

自然言語処理・機械学習(深層学習以前)の簡単な説明とプログラミングに関する内容です。

### データサイエンス基礎

基礎力に焦点を置き、機械学習の概要からデータの前処理、基本的な機械学習モデルの種類と紹介とその使い方までを扱います。エクセルデータなどの比較的簡単な数値データに対してPythonによるデータの読み込み、前処理、機械学習、モデルによる分析や結果に対する考察がある程度行えるようになることを目標とします。



# DX 経営人材コース

## コース概要

### コースの内容

目的は、業務を遂行する上で戦略的な価値観や意識を持って行動する思考と経営視点を養うことです。

本コースでは、マネジメントに必要な経営視点や論理的思考力、IT素養と情報システムの本質的理解を持ち合わせたDX推進者の育成を目指します。

ERP講座: 基礎～応用レベル  
ビジネススキル講座: デザインシンキング

### 主な対象者

- 将来マネジメント層としての活躍を目指す若手ビジネスパーソン
- DX推進担当者や、ITと基礎ビジネススキルを学びたい人

### 得られるスキル

- マネジメントに必要なとなるビジネススキルとマインドセット及びIT素養
- 企業戦略や戦術策定に用いるERPの活用方法

## DX 入門関連科目群

### DX入門Ⅰーユーザー目線からみるDX

デザイン思考と呼ばれるユーザー中心のアプローチを用い、それぞれの団体のもつ広報ツール(HPなど)を材料として業務改善の方法について学びます。各業務の改善をユーザー目線で行うための課題解決法を身に付けます。

### DX入門Ⅱー問題解決とその方法

DXを推進する際の思考・問題解決に関わるフレームワークを学び、実際に演習を行います。各業務における課題を見出すことができる方法を学び、実践に結び付けるスキルを身に付けます。

### DX入門Ⅲーデータからみるためのスキル

Pythonによるプログラムを利用して、各業務をデータ駆動型業務改善を行うためのデータの生成、解析などのスキルを身に付けます。

### 高校情報Ⅰで学ぶDXの基礎Ⅰー情報社会での問題解決

高校情報Ⅰを参考に、情報技術を利活用する現代社会に生じる問題への基礎的な知識とスキルを学びます。

### 高校情報Ⅰで学ぶDXの基礎Ⅱーコミュニケーションと情報デザイン

高校情報Ⅰを参考に、コンピュータが用いる情報及びシステムデザインに関わる基本的な知識とスキルを学びます。

### 高校情報Ⅰで学ぶDXの基礎Ⅲーコンピュータとプログラミング

高校情報Ⅰを参考に、コンピュータシステムの構造とプログラミングの基礎を学びます。

### 高校情報Ⅰで学ぶDXの基礎Ⅳー情報ネットワークとデータの活用

高校情報Ⅰを参考に、情報ネットワークの基本的な知識とデータの利活用方法に関する基礎的なスキルを学びます。

## ERP 入門

企業や公的機関などの多くの組織の運営に情報システムが活用され、「経営情報システム」とよばれます。企業経営において情報活用の重要性が増すにつれ、組織の基幹業務間での情報共有を前提とした経営情報システムであるERPシステムの導入が必須となっています。本講義では、企業経営における経営情報システムの役割、ERPシステムの基礎、およびERPシステムの構成と機能について学修します。

### ERP入門

組織の基幹業務間での情報共有を前提とした経営情報システムであるERPシステムの導入が必須となっています。企業経営における経営情報システムの役割、ERPシステムの基礎、およびERPシステムの構成と機能について学修します。

科目例(シラバス抜粋) 情報システム論 経営情報システム ERPシステム概要 会計システム① 財務会計システム

## 単体科目

### 生成系AI入門

生成AI概要、背景、現代の具体的な活用方法をワークショップ形式で学びます。日々の業務のプロセスに生成AIを取り入れることで、どのように生産性を向上させることができるのか理解を深め、プロンプトエンジニアリングに焦点を当て、生成AIを用いた実践的な問題解決スキルを身につけることを目指します。

# 高度ソフトウェアエンジニアコース

## コース概要

### コースの内容

目的は、経済産業省の発表で2030年に最大79万人の不足が予想される情報技術(ソフトウェア開発、システム運用、データ分析、ネットワークなど)に関して、高度な知識とスキルを持つIT人材の不足(質・量)を解決することです。本コースでは、クラウド、IoT、セキュリティ、データサイエンス、プロジェクトマネジメントなどとともに、最先端の技術に精通し、状況に応じた適切なソリューションを創成できる高度ソフトウェア開発者の育成を目指します。また、社会の進化をリードする学校教育・学校現場のICT化に対応すべく、初等・中等・高等教育の現場で活躍できる人材の育成も目指します。

### 主な対象者

DX推進、IoT、クラウドサービス、ソフトウェア開発、プロジェクトマネジメントなど、高度ITソフトウェア開発を担う人材へと成長したい人、さらなるスキルアップを目指す人。

### 開講予定講座

履修証明プログラム(社会人等の受講生に対して法に基づいて交付される履修証明書付きプログラム)として開講予定です。

**情報基盤整備支援士講座**: 企業のDX化、学校のICT化を支援する基盤/機器の整備支援者の養成

**情報教育支援士講座**: 小・中・高等学校から生涯学習に至るまでの情報教育支援者の養成

**応用ソフトウェア開発支援士講座**: 理工系人材が情報産業への転職および新規採用するための基礎教育

その他、PSP、TSPなど社会のニーズに応じた実践的な講座が設計される計画です。

## PSP/TSP 講座

**ソフトウェアプロセスに基づく自己マネジメント: 入門編** 期限や予算を守りつつ高品質なソフトウェアを開発するための、規模と時間の見積もり、計画の立案と追跡、品質改善の考え方を理解します。

**PSP/TSPの概要と導入** 個人やチームで期限や予算を守りつつ高品質なソフトウェアを開発するための合理的なマネジメント手法の概要を講義し、演習を通して規模と時間の見積もり、計画の立案と追跡、品質改善の手法の概要を学びます。

**PSP** 個人がプログラムを開発するためのソフトウェアプロセス(PSP)の基本的知識を講義し、演習を通してソフトウェア規模と開発時間の見積もり、計画立案と追跡、品質計画、品質測定、品質改善の手法を修得します。

**TSP** チームでソフトウェアを開発するためのチームソフトウェアプロセスの基本的知識を講義し、演習を通して自立チームの構築、ソフトウェアの規模と時間の見積もり、プロジェクト計画の立案と遂行の追跡、品質管理と品質改善、プロジェクトメンバー間のコミュニケーションなどの手法を修得します。

## 応用ソフトウェア開発支援士講座

### ソフトウェアプロセスに基づく自己マネジメント: 入門編

同上

### IoT時代の組込みプログラミング

IoTのための組込みシステムの開発を効率的な構築手法の習得を織り交ぜつつ学びます。MPUボードを用いたシステム開発のスキル、オブジェクト指向と実時間システムに基づいた手法でネットワーク上の連携を実現するスキルを習得します。

### 基礎から学べるCプログラミング

C言語を用いてプログラミングの概念を学びつつ、データ構造とアルゴリズムやオブジェクト指向に繋がる基礎を学びます。

### 基礎から学べるPythonプログラミング

Pythonの文法について学び、正規表現やクラスの概念を理解し、データ処理の基礎を学びます。特に、正規表現やディクショナリ、各種ライブラリを使う方法について理解し、機械学習ライブラリの動作までを学びます。

### 実践演習・APIを活用したソフトウェア設計

ソフトウェア開発では、APIを活用して機能を改良することや開発工数の削減が重要なスキルとなります。本演習はAPIを活用した実践的なスキルを学びます。特に、ソフトウェア設計の例としてLINEのボット制作を通じて、APIのセキュリティおよび使い方習得し、他のAPIへも応用できるスキルを学びます。

### データ変換が直接表現できるElixir言語で学ぶIoT応用

データ変換を直感的に記述できる関数型言語Elixirを用いてIoT開発を学びます。温度・湿度センサーを取り付けたRaspberry Pi 4からデータを読み取り、グラフ描画を行う処理を通じてIoT開発に関するスキルを習得します。

### ウェブサイトの構築を通じて学ぶクラウド基礎

ソフトウェアの開発、ローンチにおいて必須の技能となっているクラウドの基礎を学びます。WordPressを題材に、クラウド上にウェブサイトを構築することを通じて、クラウドの概念、コンピュータリソースの作成、接続などのクラウド利用の基礎を修得します。

### 基礎から学べるスマートコントラクト開発

ブロックチェーンの仕組みとスマートコントラクトを利用したアプリの開発方法を学びます。Solidity言語を用いたスマートコントラクトを作成し、ブロックチェーンを利用したアプリケーション作成のスキルを学びます。

## 情報教育支援士・情報基盤整備支援士講座

### 情報リテラシー

コンピューターを扱う基本的な技術とコンピューターに関する基本的な知識を身に付けることを目的とします。コンピューターの利用については、基本的な操作からオフィスソフトの利用方法、インターネットの利用と問題点を学びます。

### 情報倫理

インターネット社会における特徴を概観し、事例を示しながら解説します。また、情報社会の光と影について、適切に適用できる知識や技術等、情報モラルのスキルを習得するための演習を行います。

### 情報ネットワーク

ネットワーク工学の基本を、毎日使うウェブやメールの仕組みから、トラブル時に役立つ知識まで、広く学びます。具体範囲は、PCのネット関連コマンド操作やウェブページ作成、さらに信号データの解読や手作業による原理の確認などを含みます。

### 支援士実習(教育支援実習1、2、3、基礎整備支援実習)

実習を行う。

### プログラミング入門

前半はマウス(ロボットねずみ)を用いてプログラミングの初歩を学び、続いてプログラミング言語Cを用いて基礎を学び、コンピューターによる問題解決の手段を学びます。後半は少し複雑な問題を解くための「配列」の使用方法や「関数」の書き方を中心に学びます。

### 情報教育の理論

小・中・高校における情報教育の目標や内容、実施状況を概説し、情報教育支援士の意義や仕事内容、仕事の実態等について、事例を示しながら具体的に解説します。さらに、児童生徒に接する際の留意点等、情報教育支援士として活動するための基礎的な知識を習得します。

### 情報社会と教育

情報技術の革新がもたらす社会的影響について講義します。情報社会における教育の変革や情報化について理解を深めるとともに、情報教育や教育の情報化におけるICT支援の内容や方法について扱います。

### 情報教育の実践

小中学校でのプログラミング教育で使われるビジュアルプログラミング言語を習得することを目的とします。入門的な内容から現場で求められる実践的な内容まで学びます。

### 計算機システム

計算機システムならびに計算機アーキテクチャ(システムの設計・開発に必要なハードウェアの知識)の基本概念、デジタル計算機上での様々な種類のデータの表現方法、算術、論理演算の仕組みを理解させることを目的として、計算機システムの基本構成、動作原理、機能およびその機能の実現方法等について解説します。

### プログラミング

プログラミング言語Cを用いて、プログラミングとは何か、プログラミング言語にはどのような機能があるか、現実の問題を計算機によってどのように解決するかを教授します。

### コンピュータグラフィックス

簡単な画像処理やグラフィックスのプログラミングや3次元CGツールを用いた実習を交えながら、コンピュータグラフィックス技術の概要について学習します。実習を通してコンピュータグラフィックスの仕組みを理解するとともに、プログラミング技術も深めることを目標とします。

# 開講科目一覽

コース	講座	科目・概要	講師名	受講料	開講時期	募集時期		
AI・データサイエンス	知的モビリティのための深層学習 (※1)	安全運転支援・自動運転技術入門	榎田修一	44,000	1月	9月～12月		
		安全運転支援・自動運転を支える認知機能に関する基礎的な技術について理解を深める。						
		画像認識技術総合演習	榎田修一	44,000	2月	9月～12月		
		演習を通して、深層学習による画像認識に関する基礎的な技術の理解を深める。						
		三次元点群認識技術総合演習	榎田修一	44,000	2月	9月～12月		
		演習を通して、深層学習による三次元点群認識に関する基礎的な技術の理解を深める。						
	—	基礎から学べる Python プログラミング	Python の文法について学び、正規表現やクラスの概念を理解し、データ処理の基礎を修得する。	嶋田和孝	44,000	10月	8月～12月	
			自然言語処理と機械学習入門	嶋田和孝	44,000	10月	8月～12月	
		Python で簡単な自然言語処理・機械学習のプログラムが書けるようになる。						
		データサイエンス基礎	宮野英次	44,000	10月	8月～12月		
		エクセルデータなどの比較的簡単な数値データに対して python によるデータの読み込み、前処理、機械学習モデルによる分析や結果に対する考察がある程度行えるようになることを目標とする。						
		LLM/生成 AI のための深層学習	大北剛			詳細はお問合せ下さい		
		DX 経営人材	生成系 AI 入門	実践式およびワークショップなどを通じて世の中のデジタルや AI に関する知見やプロンプトといったスキルを習得できる。	岡田義史 (※2)			集合研修型につき 詳細はお問合せ下さい
				DX 入門Ⅰ—ユーザー目線からみる DX	安永卓生			集合研修型につき 詳細はお問合せ下さい
デザイン思考と呼ばれるユーザー中心のアプローチを用い、それぞれの団体のもつ広報ツール (HP など) を材料として業務改善の方法について学ぶ。								
DX 入門Ⅱ—問題解決とその方法	安永卓生				集合研修型につき 詳細はお問合せ下さい			
D X を推進する際の思考・問題解決に関わるフレームワークを学び、実際に演習を行う。								
DX 入門Ⅲ—データからみるためのスキル	安永卓生				集合研修型につき 詳細はお問合せ下さい			
データ駆動型業務改善を行うためのデータの取り扱いなどについて学ぶ。python によるプログラムを利用して、情報を取り出す方法を学ぶ。								
高校情報Ⅰで学ぶ DX の基礎Ⅰ—情報社会での問題解決	安永卓生				詳細はお問合せ下さい			
高校情報Ⅰを参考に、情報技術を活用する現代社会に生じる問題への基礎的な知識とスキルを学ぶ。								
高校情報Ⅰで学ぶ DX の基礎Ⅱ—コミュニケーションと情報デザイン	安永卓生				詳細はお問合せ下さい			
高校情報Ⅰを参考に、コンピュータが用いる情報及びシステムデザインに関わる基本的な知識とスキルを学ぶ。								
高校情報Ⅰで学ぶ DX の基礎Ⅲ—コンピュータとプログラミング	安永卓生				詳細はお問合せ下さい			
高校情報Ⅰを参考に、コンピュータシステムの構造とプログラミングの基礎を学ぶ。								
高校情報Ⅰで学ぶ DX の基礎Ⅳ—情報ネットワークとデータの活用	安永卓生				詳細はお問合せ下さい			
高校情報Ⅰを参考に、情報ネットワークの基本的な知識とデータの活用方法に関する基礎的なスキルを学ぶ。								
UI (ユーザインタフェース) 入門	竹川佳成 (※2)	44,000	10月	8月～12月				
UX 入門 (仮称)	竹川佳成 (※2)			詳細はお問合せ下さい				
UI/UX 基礎 (仮称)	竹川佳成 (※2)			詳細はお問合せ下さい				
ERP 入門	木村有寿 (※2)	44,000	10月	8月～12月				
企業経営における経営情報システムの役割、ERP システムの基礎、および ERP システムの構成と機能について修得する。								

コース	講座	科目・概要	講師名	受講料	開講時期	募集時期
高度ソフトウェア	応用ソフトウェア開発支援士 (※1)	ソフトウェアプロセスに基づく自己マネジメント：入門編	梅田政信	44,000	10月	8月～12月
		期限や予算を守りつつ高品質なソフトウェアを開発するための、規模と時間の見積もり、計画の立案と追跡、品質改善の考え方を理解する。				
		IoT時代の組込みプログラミング	小林史典 (名誉教授)	44,000	9月	8月～12月
		MPU ボードを用いたシステム開発ができ、オブジェクト指向と実時間システムに基づいた手法で、ネットワーク上の連携を実現できる。				
		基礎から学べる C プログラミング	嶋田和孝	44,000	9月	8月～12月
		C 言語を用いてプログラミングの概念を学びつつ、データ構造とアルゴリズムやオブジェクト指向に繋がる基礎を学ぶ。				
		基礎から学べる Python プログラミング	嶋田和孝	44,000	9月	8月～12月
		Python の文法について学び、正規表現やクラスの概念を理解し、データ処理の基礎を学ぶ。				
		実践演習・API を活用したソフトウェア設計	山内修 (※2)	44,000	9月	8月～12月
		ソフトウェア開発では、API を活用して機能を改良することや開発工数の削減は頻繁に行われており、API を利用する演習は実践的であり就業後に即役立つ。				
	データ変換が直観表現できる Elixir 言語で学ぶ IoT 応用	山内修 (※2)	44,000	9月	8月～12月	
	Elixir を題材に関数型言語によるプログラミングを理解し、IoT 開発への応用ができる。					
	ウェブサイトの構築を通じて学ぶクラウド基礎	山内修 (※2)	44,000	9月	8月～12月	
	ソフトウェアの開発、ローンチにおいて必須の技能となっているクラウドの基礎を修得する。					
基礎から学べるスマートコントラクト開発	中城元臣 (※2)	44,000	9月	8月～12月		
Solidity 言語を用いたスマートコントラクトを作成し、ブロックチェーンを利用したアプリケーションが作成できるようになる。						
—	情報教育支援士 情報基盤整備支援士 (※1)	情報リテラシー	山口貞之介	10,200	5月	3月
		コンピューターを扱う基本的な技術とコンピューターに関する基本的な知識を修得する。				
		情報倫理	阿濱茂樹 (※2)	15,400	9月	3月
		情報社会の光と影について、適切に対応できる知識や技術等、情報モラルのスキルと習得するための演習。				
		情報ネットワーク	小林史典 (名誉教授)	15,400	10月	3月
		ネットワーク工学の基本を、毎日使うウェブやメールの仕組みから、トラブル時に役立つ知識まで、広く修得する。				
		支援士実習 (教育支援実習 1、2、3、基礎整備支援実習)	実習講師	15,400	7月	3月
		教育支援実習、基盤整備支援実習				
		プログラミング入門	篠原武 (名誉教授)	15,400	9月	3月
		プログラミングの初歩を学び、続いてプログラミング言語 C を用いて基礎を学び、コンピューターによる問題解決の手段を修得する。				
		情報教育の理論	西野和典 (名誉教授) 池田勇 (※2) 山崎由美子 (※2)	15,400	6月	3月
		小・中・高校における情報教育の目標や内容、実施状況を概説し、情報教育支援士の意義や仕事内容、仕事の実態等について、事例を示しながら具体的に解説する。				
		情報社会と教育	浅羽修丈 (※2)	15,400	7月	3月
		情報社会における教育の変革や情報化について理解を深めるとともに、情報教育や教育の情報化における ICT 支援の内容や方法について扱う。				
情報教育の実践	中基隆 / 荒川等	15,400	2月	3月		
小中学校でのプログラミング教育で使われるビジュアルプログラミング言語を習得する。						
計算機システム	江本健斗	15,400	8月	3月		
計算機システムの基本構成、動作原理、機能およびその機能の実現方法等について解説する。						
プログラミング	嶋田和孝	15,400	12月	3月		
プログラミング言語 C を用いて、プログラムとは何か、プログラム言語にはどのような機能があるか、現実の問題を計算機によってどのように解決するかを習得する。						
コンピュータグラフィックス	乃万司	15,400	1月	3月		
実習を通してコンピューターグラフィックスの仕組みを理解するとともに、プログラミングの技術も深める。						
PSP/TSP	PSP/TSP の概要と導入効果	個人やチームで期限や予算を守りつつ高品質なソフトウェアを開発するための合理的なマネジメント手法の概要を講義し、演習を通して規模と時間の見積もり、計画の立案と追跡、品質改善の手法の概要を修得する。本科目は主にマネジメント層を対象とする。	片峯恵一 / 梅田政信 / 日下部茂 / 荒木俊輔 / 他			詳細はお問合せ下さい
		個人がプログラムを開発するためのソフトウェアプロセス (PSP) の基本的知識を講義し、演習を通してソフトウェア規模と開発時間の見積もり、計画立案と追跡、品質計画、品質測定、品質改善の手法を修得する。本科目は主にエンジニアを対象とする。	片峯恵一 / 梅田政信 / 日下部茂 / 荒木俊輔 / 他			詳細はお問合せ下さい
		チームでソフトウェアを開発するためのチームソフトウェアプロセスの基本的知識を講義し、演習を通して自立チームの構築、ソフトウェアの規模と時間の見積もり、プロジェクト計画の立案と遂行の追跡、品質管理と品質改善、プロジェクトメンバー間のコミュニケーションなどの手法を修得する。本科目は主にエンジニアを対象とする。	片峯恵一 / 梅田政信 / 日下部茂 / 荒木俊輔 / 他			詳細はお問合せ下さい
—	デジタル画像処理入門	安永卓生	44,000	11月	9月～12月	
各種の業務で用いられている画像 (静止画、動画) をデジタル化し、処理するための基礎となる知識と画像処理法のスキルを、演習を通して修得する。						
—	情報処理・データサイエンス	井上雅世			詳細はお問合せ下さい	
アルゴリズムおよびそれを解析するための数学的な能力を修得する。また、データサイエンス・AI についての基礎的な考え方や使用方法を修得する。						

2024年8月現在の情報です。開講時期・募集時期は予定のため、変更の可能性があります。最新の情報は HP でご確認ください。  
(※1) 履修証明プログラムとしての実施を予定。(※2) 外部講師

お申込みはこちらから▶

